

ものもらい(麦粒腫)^{ばくりゅうしゅ}について

「目がかゆい」「目がコロコロする」そんな症状はありませんか？その原因は、ものもらい(麦粒腫)かもしれません。

ものもらいは、まぶたにある脂や汗を出す腺に黄色ブドウ球菌などの細菌が感染して起こる「麦粒腫」と、脂の成分を出す腺が詰まって硬いできものができる「さん粒腫」の2種類があります。

一般的には、麦粒腫のことを「ものもらい」といいますが、地域によっては「めばちこ」「めいぼ」などと呼ばれています。

今回、ものもらい(麦粒腫)の正しい対処法を取り上げますので、参考にしてみてください。

<どうして起こるの？>

多くは黄色ブドウ球菌による細菌感染が原因で起こります。黄色ブドウ球菌は、けがをした時など化膿した傷に存在しますが、健康な人の「のど」や「手指」にも常在菌として分布しています。

感染力は弱く、人に感染することはほとんどありませんが、目にけがをした時や、病気などで身体の免疫力が落ちているときなどに感染しやすいため注意が必要です。



<症状>

初期は、まぶたに軽い赤みとかゆみを伴う程度で、痛みはほとんどありません。しかし、症状が進むとまぶた全体が赤く腫れ、目やにが出たり「赤み」「腫れ」「痛み」といった症状が強くあらわれます。放置しておくと、腫れた部分が破れ膿が出てきます。膿が出ると治ることが多いのですが、まれに重症化することもあるので注意が必要です。

<治療方法>

治療では、抗菌点眼薬や抗菌眼軟膏が使われますが、腫れなどの症状が強く出た場合には、抗生剤や消炎薬が使われ、ほとんどの場合は約1～2週間で治ります。

また、膿がたまると膿を排出させるための切開がおこなわれる場合もあります。

<予防のポイント>

1) 目を清潔に保ちましょう!!

- ・まつげの根元は特に雑菌がたまりやすいため、汚れた手指やタオルなどで目をこすらないようにしましょう。
- ・濃いアイメイクや長い前髪は刺激になるので避けましょう。

2) 気をつけたい飲食物・アルコール

- ・炎症を起こしやすい辛い食べ物や、カニやエビなどの甲殻類は、ものもらいを起こしやすいと言われています。また、アルコールも、炎症を悪化させるので控えましょう。



3) コンタクトレンズ

- ・清潔に使用し管理をしないと雑菌がつきやすくなります。レンズケアは正しい方法で毎日行いましょう。



4) その他

- ・季節の変わり目などで体調がすぐれない時や、病気で抵抗力が落ちている場合などにも起こりやすいので気をつけましょう。

※ものもらいは、1～2週間程度で自然に治りますが、他の病気が潜んでいる場合もあるため早めに医療機関へ行き相談しましょう。